

教員の長時間労働の解決、学校の切迫した状況を改善するためには、わずかな給与の「改善」ではなく、①教員への残業代制度導入、②授業量に見合った教員基礎定数の増加といった本当の改革が求められています。国民的なたたかいが必要です。

学校給食週間（毎年 1/24～1/30）に合わせ 給食センターで小学生と同じ給食、市民に提供

1/27 東浅井給食センターで 40 食提供の「学校給食レストラン」開催。希望者多数の場合は抽選で、私も応募し当選となり、小学生と同じ給食をいただきました。食事代 500 円。食後 2 階から調理エリアを見学しました。



メニュー

ごはん、牛乳、さけの塩焼き、ほうれん草のごまさみ和え、愛知の恵み汁、おにぎりのり愛知のみかんゼリー



東浅井給食センター

●学校給食の始まり

日本における学校給食は、明治 22 年(1889 年)山形県鶴岡町(現在は鶴岡市)にある小学校で、家庭が貧しくてお弁当を持っていけない子どもたちのために無料で食事を提供したことから始まりました。戦後、困難な食糧事情のもとで、主として経済的困窮と食料不足から、児童生徒たちを救済する措置として、実施されました。

●現在、学校給食は教育の一環、食育充実めざす

児童生徒が大きく成長する時期に、栄養バランスのとれた学校給食を摂ることを通じて、食育の充実をめざしています。

★食育基本法(2005 年制定)

子どもたちに対する食育は、心身の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼし、生涯にわたって健全な心と身体を培い、豊かな人間性をはぐくんでいく基礎となるものである。



東浅井給食センター調理エリアで 一宮市の特産物の紹介

はくさい、ほうれんそう、ねぎ、だいこん
切干しだいこん、なす、さつまいも、米、
卵、はちみつ
地元産の食材の活用を進めましょう

市民の声 埼玉県八潮市の陥没事故について

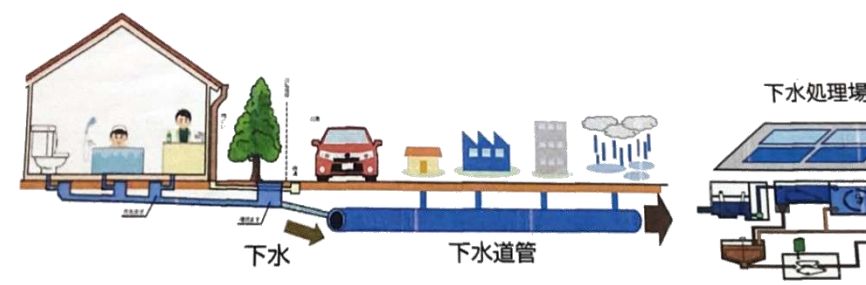
県道が陥没して、トラックが転落した事故で救助活動の報道を見ると、どこでも起こりうることはないか。一宮市の下水道の老朽化対策は？ 点検はしなくていいのか？



担当課職員に確認しました

●下水道とは

下水（家庭の台所・水洗トイレ、工場・事業所から出る汚水、雨水）を排除するために、設けられる下水道管、処理施設、ポンプ施設などの施設の総体を指す。市で管理する処理施設は、東部浄化センター（縁葉川、青木川に放流）、西部浄化センター（日光川に放流）。



●一宮市の下水道施設の老朽化

市は下水道管約 1,477 kmを管理、下水道管の法定耐用年数は 50 年、法定耐用年数を超過した下水道管は約 226 km、約 15%におよぶ。

●1/31 一宮市緊急点検実施



中京テレビニュース「キャッチ」1/31
YouTube キャッチ
東海地方でも下水道の緊急点検・一宮市

国は全国の自治体に対し、大規模な下水道管路施設の緊急点検を要請したが、市では、国が示す施設は保有していない。腐食など計画的に点検を実施しているが、市独自の取組みとして 3 人の職員で緊急点検を 1/29～実施した。点検対象は、腐食のおそれが大きい路線 5.7 kmなど。点検内容は、路面からの巡視、マンホール内の点検。

*全国各地で緊急点検（朝日新聞 2/1）

事故の要因とみられる下水道管の老朽化は全国共通の課題で、ほかの地域でも警戒感が広がる。水戸市で昨年 10 月長さ 5 m幅 2 m深さ 5 m道路が陥没。担当者は「改修を進めなければならないが、国の補助金がないと市単独では進められない」と漏らす。

***軍事費より下水道管老朽化対策に
国の予算を回してほしい**
(ひこさか和子)

